

発生サイド	ファウル名称	次Down	罰則	施行地点	見るべき審判					補足	ホイッスル	掲載場所		
					R	BJ	DJ	FJ	SJ			ルール	セクション	ディクショナル
【施行地点】BS:ベーシックスポット（定義参照）、SF:反則地点、SL:スクリメージ、DB:ボールデッド地点														
BS: B Sとは次の例外を除いてS Lのことである。 A. S L後方でのOによる反則では、B SとはS Fをいう。 B. D BがS Lを越えた時のDによる反則では、B SとはD Bをいう。 C. 攻守交代後の反則ではB SはD Bとなる。最後にボールを確保していたチームの反則がD Bよりも手前だった場合B SはS Fになる。 D. チームの所有権が変更された後、ボールがエンドゾーンの外に持ち出される前に所有権のあるチームの自陣エンドゾーン内で犯したファウルの場合、執行場所はタッチバックスポット（自陣の5ヤードライン）となる。														
D	ディフェンスによる パスインターフェアランス Defensive pass interference	AFD	10	BS			○	△	◎	パスインターフェアランスの規則は、正当なフォワードパスプレイ中にのみ、パスが選手に触れた地点または不成功となった地点まで適用される。妨害が成立するのは、身体的コンタクトがあった場合である。 パスインターフェアランスとは、ボールが空中にある間に対戦相手を妨害するようなコンタクトをいう。 ディフェンス選手には対戦相手とのコンタクトを回避する責任がある。 複数の資格のある選手が同時にかつ公正にボールに触れ、叩きまたはキャッチする行動を取った場合は、パスインターフェアランスとはならない。 双方のチームの捕球資格のある選手は、ボールについて平等な権利を持つ。 しかし、相手を避けるのは不利なポジションにいる選手の責任である。 注：パスが投げられる前や、パスがスクリメージラインを越えなかった場合のパスプレイでのコンタクトは、イリーガルコンタクトの 反則となる	OFF	7	3	3
O	オフェンスによる パスインターフェアランス Offensive pass interference	LOD												
D	ディフェンスによるイリーガルコンタクト Illegal contact by defense	AFD	10	BS						a. 選手は、意図的に対戦相手、または審判にコンタクトしてはならない。 b. 選手は、他の選手を踏みつけたり、飛び付いたりしてはならない。 c. 選手は、他の選手を掴んではならない。 d. 静止状態の選手すべてに優先される場所があり、対戦相手は、コンタクトを避けなければならない。 e. ランナーとの接触を避ける責任が完全にある。 ランナーとディフェンダーが等しく接触に関与した場合、ファウルはオフェンスのものである。 f. 正当なフォワードパスが可能である限り、オフェンス選手すべてに優先進路があり、ディフェンス選手は、コンタクトを避けなければならない。フォワードパスが空中にある間はすべての選手にボールをキャッチする権利があるが、対戦相手に突撃したり、かいくぐったりする行為は避けなければならない。 レシーバーとディフェンダーが等しく不正な接触に貢献した場合、ファウルはディフェンスのものである。 g. 資格のあるブリッツァー全てに優先進路があり、オフェンス選手はコンタクトを避けなければならない。 注：接触がなくても、オフェンス側プレーヤーのシールドとなる可能性がある。 いかなる選手も エイミングを行ってはならない。	OFF	9	1	1
O	オフェンスによるイリーガルコンタクト Illegal contact by offense	LOD												
D	ディフェンスによる試合妨害 Game interference by defense	AFD	10	BS			○	○	○	試合中、交代要員またはコーチは、ボール、プレーヤー、または審判にいかなる形であれ、コンタクトまたは妨害をしてはならない。	OFF	9	1	2
O	オフェンスによる試合妨害 Game interference by offense	LOD												
O	ディレイオブパス Delay of pass	LOD	-	SL			○			クォーターバックは、スナップを受けた後、7秒以内にパスを投げるかハンドオフを行う。	ON	7	1	3
O	イリーガルハンドオフ Illegal hand-off	LOD	5	SF			○			a. ボールがスクリメージラインを超えて運ばず、チームの攻撃権が変更される前であれば、ハンドオフを行う選手が共にスクリメージラインの手前にいる限り、オフェンスはボールを複数回ハンドオフすることができる。 b. スナッパーは前方へのハンドオフを受け取ってはならない。	OFF	7	1	5
O	イリーガルバックワードパス Illegal backward pass	LOD	5	SF			○	○	△	ランナーは、それまでにスクリメージラインを越えておらず、かつ、攻守交代の前であれば、ボールを後方にパスすることができる。	OFF	7	2	1
O	イリーガルタッチ Illegal touching	LOD	-	SL			○	○	○	a. ハザー はディフェンダーが触れた後に、自分が投げたボールに触れたり、パッディングしたり、キャッチすることが認められる。 b. ダウン中に自発的に サイドラインを割ったオフェンス選手は、その後に空中のパスを受けることはできない。オフェンス選手がファウルによりサイドラインまたはエンドゾーンを 割った後、直ちにフィールドに戻った場合には、その選手にはパスに触ることや、捕球する資格が残っていることとする。	OFF	7	2	5
O	イリーガルフォワードパス Illegal forward pass	LOD	5	SF			△		○	フォワードパスは、次の場合に不正となる。 a. オフェンス選手がボールリリースの時にスクリメージラインを越えていた場合。 b. ランナーが一旦スクリメージラインを越えたあとで、ボールが投げられた場合。 c. オフェンスが同一のダウン中に2回目のフォワードパスを行った場合。 d. ダウン中のチームの攻守交代後にボールが投げられた場合。	OFF	7	3	2
O	ランナーによるイリーガルキック Illegal kick by runner	LOD	5	SF			○	○	○	ランナーは、意図的にボールを蹴ってはならない。この反則があった場合、ボールデッドとなる。	ON	6	1	1
O	イリーガルラン、イリーガルランプレイ Illegal run, illegal run play	LOD	5	SL			△		○	イリーガルラン：他の選手が完全にボールを確保したあとや、空中にあるボールをディフェンス選手が触れない限り、クォーターバックはボールを持ったままスクリメージラインを越えて走ることはできない。 イリーガルランプレイ：ボールが相手のゴール前5ヤード以内（ノーランニングゾーン）でスナップされた場合には、オフェンスは、フォワードパスプレイを行わなければならない。	OFF	7	1	3
O	ジャンピングまたはダイビング Jumping or diving	LOD	5	SF			○	○	○	ジャンピング とは、ランナーが地面を蹴って、それにより通常のランプレイよりもフラッグの高さを著しく上げることで、フラッグプルを回避しようとする行為をいう。 ダイビング とは、ジャンピング、ディッピング、スピンの有無にかかわらず、ランナーが上体を前傾させることでフラッグプルを回避したり、 フラッグへのアプローチをより困難にしようとする 行為をいう。ジャンピング(ダイビング)はフラッグカーディングの一種で反則である。(Flag Football Rules 2023, p18)	OFF	9	2	2

発生サイド	ファール名称	次Down	型 類	施行地点	R	BJ	FJ	SJ	補足	ホイッスル	掲載場所		
O	フラッグガーディング Flag guarding	LOD	5	SF	○	○	○	○	フラッグガーディングとは、ランナーが体の部分（手、腕、足）で、またはボールでフラッグを覆 か、旗を引く前に旗の前で腰の下で手を振ることにより 、フラッグプルを回避しようとする行為をいう。フラッグガーディングとはまた、相手選手に向かって上体を前傾させたり（ダイブ）、腕を伸ばしたりすることにより、ディフェンス選手がフラッグを取ることを難しくする行為をも指す。	OFF	9	2	2
O	イリーガルパッディング Backward pass batted forward by passing team	LOD	5	SF	○	○			後方へのパスはパスしたチームが前方へパッディングしてはならない。上記の制限の範囲外では、インバウンドプレーヤーは、どの方向であっても、パスにタッチしたりパッディングしたりすることができる。	OFF	7	2	5
O	イリーガルスナップ Illegal snap	REP	5	DB	○	○	○		スナッパーは、ボールに触れた時点で、ボールを持ち上げたり、前方に動かしたり、スナップの開始を装ったりしてはならない。スナップ前は、ボールの長い方の軸が、スクリメージラインに対して直角になるように置かなければならない。正当なスナップとは、片手または両手で、地面から後方へ素早く連続した動きで行う、自身のポジションから後方に向けた ボール の手渡しまたは/パスであり、その結果、ボールは手から離れる。スナップは、スナッパーの両足の間で行う必要はない。	ON	7	1	1
O	ディレイオブゲーム Delay of game	REP	5	DB			○		レフリーがレディーフォープレイを宣言してから25秒以内に、プレイを開始する。	ON	7	1	1
O	エンクローチメント Encroachment	REP	5	DB	○	○	○		スナッパーがボールに触れてからボールがスナップされるまで、すべてのオフENSE選手はS Lの手前のフィールド内にいなければならない（違反した場合は、エンクローチメントの反則）	ON	7	1	3
O	フォルススタート False start	REP	5	DB	○	○	○		オフENSE選手は、フォルススタートまたはプレイ開始を装ういかなる動きを行わない。	ON	7	1	3
O	イリーガルシフト Illegal shift	REP	5	SL	○	○	○		スナップ開始と同時に、2名以上の選手がモーションしていた場合、それはイリーガルシフトになる。	ON	7	1	3
O	イリーガルモーション illegal motion	REP	5	SL	○	△	○		スナップ開始時、オフENSEの選手1名はモーションが可能だが、対戦相手のゴールラインに向かうモーションはできない。	OFF	7	1	3
D	オフサイド Offside	REP	5	DB	△		○		ボールがスナップされる前に、すべてのディフェンス選手がS Lの向こう側のフィールド内にいなければならない	ON	7	1	4
D	ディスコンサーティングシグナル disconcerting signals	REP	5	DB	○	△	○	△	ディフェンス選手は、対戦相手がボールをプレイに移そうとしている際に、対戦相手を攪乱するような言葉や合図を使用してはならない。	ON	7	1	4
D	イリーガルブリッツァーシグナル illegal blitz signal	REP	5	DB	○	△	○	△	最大2名の プレーヤー がブリッツァーとして宣言できます。 シグナルを出すプレーヤーがスクリメージラインから7ヤード未満にいた場合、無効なシグナルを出した場合、またはスナッパーがボールに触れた後に3名以上のプレーヤーが同時に手を上げたままにした場合、イリーガルシグナルの反則となる。	ON	7	1	4
D	イリーガルラッシュ Illegal rush	REP	5	SL		△	○		スナップ時にスクリメージラインから、体のすべての部分を7ヤードを越えた位置で守っているディフェンス選手は、ボールデッドまでスクリメージラインを何度も横切ることができる。選手はブリッツァーとして優先進路(ROW)を要求する必要はなく、7yd以上離れていれば、どの選手もプレイ中にクォーターバックにラッシュをかけることができる。スナップ時にスクリメージラインから7ヤード以内のすべてのディフェンス選手は、ボールがクォーターバックによってハンドオフ、ハンドオフフェイクまたは/パスされるまでは、ディフェンス選手はスクリメージラインの向こう側に留まっていなければならない。	OFF	7	1	4
O/D	シールドイング Shielding	REP	5	BS	○	○	○	○	シールドイングとは、対戦相手の進路を、コンタクトすることなく妨害すること。優先進路の権利を持たない選手が、対戦相手がパスルートを走るのを妨げたり、ランナーに向かうことを妨げ、または正当なブリッツァーを妨げるために移動することは、シールドイングによる反則となる。静止して（優先場所を有して）いる選手は、たとえ対戦相手の進路上に立っていたとしても、シールドイングを行っているとはみなされない。（Flag Football Rules 2023, p17）	OFF	9	2	2
D	イリーガルフラッグプル Illegal flag pull	REP	5	BS	○	○	○	○	選手は、ランナーまたはランナーを装う対戦相手以外の相手選手、もしくは空中にあるボールに触れている相手選手から、フラッグを抜かないものとする。	OFF	9	2	2
O/D	パスのイリーガルキック Illegal kicking a pass	REP	5	BS	○	○	○	○	いかなるプレーヤーも意図的にパスやファンブルを蹴ってはならない。このファウルは、ファンブラーのチームメイトがボールをキックした場合を除き、ボールのステータス変更とならない。	OFF	9	2	2
O/D	不正参加 Illegal participation	REP	5	SL	○	○	○	○	1チーム6名以上の選手の参加は不正である	ON	9	2	2
O/D	サイドライン妨害 Side line interference	REP	5	SL	○	○	○	○	コーチおよび交代選手は、ダウン中にチームエリア外に出てはならない。	OFF	9	2	2
O/D	タイムアウトが残っていない中でのタイムアウトの請求 Charged timeout without a timeout left	REP	5	DB	○	○	○	○	各チーム前後半 2 回ずつのタイムアウトを持っている。タイムアウトは最大60秒。審判は両チームの合意を得て時間を短縮することができる。	ON	9	2	2
O/D	不正な選手交代 Illegal substitution	REP	5	SL	○	○	○	○	オフENSEはスナッパーがボールに触れるまで交代可能。ディフェンスはボールがスナップされるまで交代可能。	ON	9	3	1
O/D	スポーツマンにふさわしくない行為 Unsportsmanlike acts	REP	10	DB	○	○	○	○	脅迫的な、もしくは品位を乱す言葉や身振りの使用、または、敵意や侮辱を与えるような行為を行うこと。選手が次のスポットにボールを返さない、またはデッドボール地点の近くに置かない場合。選手が抜き取ったフラッグを相手選手に直ちに返さない、または抜き取った地点付近に置かない場合。選手は相手にフラッグを返すことが好ましい。同じゲーム中にスポーツマンシップに反する行為を2回行った選手またはコーチは、失格となる。	ON	9 10	2 1	1 1
O/D	チャージドタイムアウト （タイムアウトを1つ没収すること） CHARGED TIMEOUT				○	○	○	○	違法な用具を着用したり、必須の用具を着用していないプレーヤーはプレーすることはできない。出血した傷を負った選手はフィールドから退場しなければならない。選手は審判員からの指示があった場合には、直ちにフィールドから退場しなければならない。	ON	9	2	2
					○				コーチのチャレンジ失敗 ※タイムアウトが残っていない場合はSLから5ヤード下がってREP down	ON	12	1	4

改訂日：2023.09.13